

自治体

取組名
(担当部署)

取組内容

令和5年度 木育事例集

山武市

イベント等への参加によるサンプスギのPR
(農政課)

木の肌触りや香りを感じてもらい、木に親しんでもらうことを目的に、イベント出展によるサンプスギの箸づくり体験や積み木大会を行った。



浦安市民まつり
(箸づくり体験)



さんむ森林まつり
(箸づくり体験、積み木大会)



山武市産業まつり
(箸づくり体験、積み木大会)

イベント

千葉市

木育イベントの開催 (脱炭素推進課)

県産材を利用したおもちゃや木工作等の体験を通して、幼児～小学生に木に親しんでもらうとともに、森林の健全な育成や温暖化対策における吸収源の整備等、森林の大切さについて理解を深めてもらうための木育イベントを実施した。



イベント

千葉市

植樹体験 (脱炭素推進課)

子どもたちとその親世代への森林の健全な育成や温室効果ガス削減のための吸収源整備についての普及啓発と、幼少期からの木育活動の推進を図るため、植樹体験を開催した。



イベント

フォレストデー（木育イベント）の開催 （農林水産課）

グリーンウッドワークや薪割り体験等、木にまつわる体験ブースを設置し、森林資源に対する興味関心をもってもらうイベントを開催した。前述の木育コーディネーター養成講座との連携企画であり、講座受講者がイベントスタッフとなり、木育実践の涵養を促した。イベントには約300名の親子が参加した。



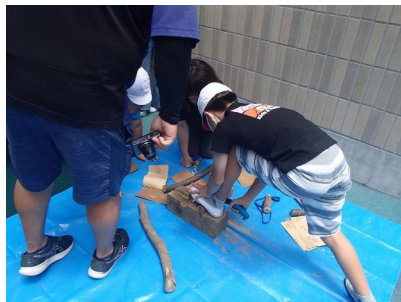
森林を学ぼう！夏休み木工教室 (農政課)

小学校低学年とその家族を対象に、木とのふれあいを持つ機会を作り、木製品の暖かみ、親しみやすさなどの利点を知っていただき、県産材の利用促進をすることを目的に木工教室を2回開催した。



**林業体験教室
(農政課)**

小・中学生を対象として、森林の公益的機能や林業について理解や興味を深めてもらうことを目的に、木工体験（スウェーデントーチの鑑賞、バードコール製作）や森林散策を実施した。



バードコール製作



森林散策



スウェーデントーチ

**森林啓発用小冊子配布
(農政課)**

小学生を対象として、森林の公益的機能や林業について理解や興味を深めてもらうことを目的に、啓発用図書（小冊子）を購入し、配布した。

森林環境教育プログラム（１） （農政課）

森林・林業体験活動の場とし、「サンプスギ」をはじめとした針葉樹と広葉樹の混交林が広がった市有林「日向の森」を活用し、地域の小中学生を対象に、自然を親しみながら森林環境問題への理解を深めていくことを目的とし、森林環境教育プログラムを実施した。

令和5年度は、初年度であることから、山武地区の小中学校とし、計419名が参加した。

小学3年生：森林内観察、サンプスギの植樹（参加者：81名）



森林環境教育プログラム（２） （農政課）

森林・林業体験活動の場とし、「サンプスギ」をはじめとした針葉樹と広葉樹の混交林が広がった市有林「日向の森」を活用し、地域の小中学生を対象に、自然を親しみながら森林環境問題への理解を深めていくことを目的とし、森林環境教育プログラムを実施した。

令和5年度は、初年度であることから、山武地区の小中学校とし、計419名が参加した。

小学4年生：森林内観察、木のメダルづくり（参加者：72名）



森林環境教育プログラム（３） （農政課）

森林・林業体験活動の場とし、「サンプスギ」をはじめとした針葉樹と広葉樹の混交林が広がった市有林「日向の森」を活用し、地域の小中学生を対象に、自然を親しみながら森林環境問題への理解を深めていくことを目的とし、森林環境教育プログラムを実施した。

令和5年度は、初年度であることから、山武地区の小中学校とし、計419名が参加した。

小学5年生：林内整備（枝拾い）、薪割り体験（参加者：79名）



教育・保育

森林環境教育プログラム（４） （農政課）

森林・林業体験活動の場とし、「サンプスギ」をはじめとした針葉樹と広葉樹の混交林が広がった市有林「日向の森」を活用し、地域の小中学生を対象に、自然を親しみながら森林環境問題への理解を深めていくことを目的とし、森林環境教育プログラムを実施した。

令和5年度は、初年度であることから、山武地区の小中学校とし、計419名が参加した。

小学6年生：間伐体験（参加者：90名）



教育・保育

森林環境教育プログラム（５） （農政課）

森林・林業体験活動の場とし、「サンプスギ」をはじめとした針葉樹と広葉樹の混交林が広がった市有林「日向の森」を活用し、地域の小中学生を対象に、自然を親しみながら森林環境問題への理解を深めていくことを目的とし、森林環境教育プログラムを実施した。

令和５年度は、初年度であることから、山武地区の小中学校とし、計４１９名が参加した。

中学１年生：森林内学習（林内見学、伐倒見学）（参加者：９７名）



環境教育の推進 （学校教育部教育指導課）

例年、小学４年生と中学１年生に環境教育教材を配付し、環境教育を推進している。その教材の中で、「森林破壊」や「千葉市の緑」「ビオトープ」について学習している。

千葉県

木工技術出前教室 (森林課)

中学校の技術・家庭科の授業で県産木材を使用して、かんながけ等の木工技術を披露・伝承する、木工技術出前教室を開催した。2つの中学校の6クラス、159名を対象に授業をおこなった。



教育・保育

山武市

木育インストラクター養成講座の受講 (農政課)

木育の意義や役割を理解し、木や森についてわかりやすく伝えることのできる指導者「木育インストラクター」の資格取得のため、市内のこども園等の教諭が、木育インストラクター養成講座を受講した。講座には、10名が受講した。

人材育成

森林ボランティア育成講座 (農水産課)

森林ボランティア育成講座を実施し、森林にまつわる講義や実習を通じて市内の森林整備を担うボランティアの育成に努めた。



人材育成

木育コーディネーター養成研修 (農林水産課)

森林・木材に関する知識を養うとともに、木のおもちゃを活用した木育活動を実践することができる人材を育成する講座を開講した。初めての開講となり、1日のみの実施となったが8名が修了した。



人材育成

千葉県

木育指導者養成研修 (森林課)

木育を推進し、千葉県の森林・木材に対する県民の理解を促進するために、千葉県の森林・木材に関する知識があり、木育活動の企画立案・指導を行える人材を育成することを目的に、木育指導者養成研修を開催し、20名が修了した。

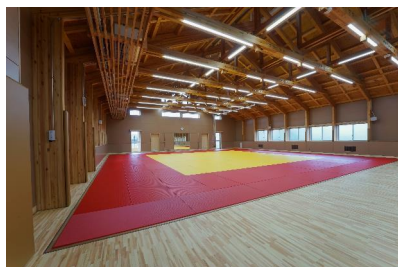


人材育成

館山市

館山中学校（武道館）の整備 (建築施設課)

館山中学校（武道場）の整備において、構造材の一部に国産材を活用した。



木質化

習志野市・南房総市 自治体間連携による森林整備の促進 (環境政策課)

令和5年3月に「習志野市と南房総市との森林整備事業等に関する協定」を締結した。
この協定は、南房総市の森林整備費用の一部を、習志野市が同市の森林環境譲与税で負担する。

習志野市としては、整備された森林における温室効果ガス吸収量を習志野市が確保し、習志野市の温室効果ガス排出量から相殺され、南房総市としては、森林整備をすることにより、災害予防や整備費用の削減につながる。
公共施設に南房総市産の木材を使用することにより、南房総市産木材のPRができる。
令和5年度は、谷津干潟周辺にある遊歩道のベンチを改修修繕した。



木製品導入

森林環境譲与税の活用 (農林課耕地林務係)

木育用として町立保育園2園に、木製ジャングルジムとサンブスギ積み木を配備した。



木製品導入

浦安市

木製折り紙の配布 (環境部環境保全課)

幼少期から木製品に親しんでもらうため、山武市との連携協定により、木製の折り紙を調達し、1歳6か月健診時に市民に配付した。

令和5年度配付数：1,141セット



木製品配布

山武市

サンブスギ製積み木の配布 (農政課)

子どもに木の肌触りや香りを感じてもらい、木に親しんでもらうことを目的に、サンブスギ製積み木を購入し、1歳6ヶ月健診の対象者へ配布した。

配布数：160個



木製品配布

木育おもちゃの作製・配布 (脱炭素推進課)

市内保育所等に県内の森林整備により搬出された間伐材等の木材を活用した木育おもちゃを配布し、幼児及び保護者に対して、森林の健全な育成・温暖化対策における吸収源整備について普及啓発を図った。



木製品配布

千葉県中学校木工工作作品展の支援 (森林課)

千葉市のきぼーるで開催された、中学校木工工作作品展の支援を行った。
出展数は112点、来場者は810人であった。



支援

ちばの木のおもちゃ貸出 (森林課)

県産木材に触れる機会を広く提供するため、県産材を使用したおもちゃを購入し、木育行事に対して無償で貸出を行った。

令和5年度は、10点のおもちゃ購入と、17件の貸出を行った。

